

検討の進め方(案)

1 検討テーマ

NBC 災害に関する消防・救助活動のあり方

2 趣旨

NBC 災害対応資機材の高性能化等に伴う検知、除染等の活動手法の変化や実災害での活動結果等を踏まえ、技術的な観点から現行の NBC 災害に関する活動マニュアル(※)の内容見直しを行うとともに、災害態様別に必要な部隊編成等を標準化し、追加記述を行う。

※「生物・化学テロ災害時における消防機関が行う活動マニュアル」及び「原子力施設等における消防活動対策ハンドブック」

3 主な検討事項

- (1) 新しい NBC 災害対応資機材の効果的な活用方法とマニュアルへの反映
- (2) NBC 災害の態様別に必要な部隊編成、車両及び資機材
- (3) NBC 災害時の管轄消防本部、県内応援隊及び緊急消防援助隊の連携活動
- (4) NBC 災害時の自衛隊、警察等関係機関との連携活動
- (5) NBC 災害時の効果的な部隊運用、活動手法(部隊運用、安全管理等含む。)

4 検討方法

(1) 分科会

検討テーマ毎に次の分科会を開催する。

①救助技術の高度化等分科会

ア 検討範囲

主な検討事項のうち、BC 災害対応全般並びに N 災害の部隊の編成及び運用に係る事項等を中心に検討

イ 分科会構成員

委員 12 人及びオブザーバー 7 人(資料 2)

ウ 開催予定回数

4 回

②N災害等に関する消防活動対策分科会

ア 検討範囲

主な検討事項のうち、N災害対応に関する事項(部隊の運用に係る事

項を除く。)を中心に検討

イ 分科会構成員

委員 9 人及びオブザーバー 8 人(資料 2)

ウ 開催予定回数

3 回

(2) 検討スケジュール

資料 3-2「消防・救助技術の高度化等検討会検討スケジュール」のとおり。

(3) 調査方法

次のとおり各種実態調査を実施し、調査結果のうち必要な事項を検討結果に反映する。

① NBC災害に関する国内実態調査

ア 趣旨

国内で発生したNBC災害の活動実績等を調査・検証するとともに、NBC資機材の保有状況、NBC部隊の運用状況等を実態調査し、消防機関におけるNBC災害対応に係る課題を抽出する。

イ 調査実施時期・期間

H24.7～H24.12頃まで

ウ 主な調査項目例

- ・NBC 災害に関する消防本部の活動要領と課題
- ・NBC 資機材の配置状況、訓練体制と集中・分散配置の課題
- ・検知・除染体制と部隊の任務分担状況
- ・NBC 実災害の対応状況
- ・NBC 災害に係る健康管理
- ・NBC災害に関する教育訓練状況 など

② NBC災害に関する海外実態調査

ア 趣旨

消防・救助体制、応援体制及びNBC災害等における日・欧米間の相違に留意しつつ、NBC災害に関する救助技術を我が国が参考とする場合の有効性の観点から、海外における最新のNBC災害対応技術に関する情報収集を行うとともに、実動部隊の運用面に関するヒアリング調査を実施する。

イ 調査実施時期・期間

海外実態調査の実施期間は9月中旬～10月下旬に1週間程度とし、詳細は、調査先機関と調整の上決定する。

ウ 調査機関

米国・英国等のNBC(CBRNE)災害対応の先進地域消防本部・政府機関、NBC資機材等製造事業者等を選定予定

エ 主な調査項目例

- ・NBC災害における具体的な部隊編成・部隊運用
- ・検知及び除染活動手法
- ・NBC災害対応部隊の先進的保有資機材及び戦術
- ・車両の陽圧化状況と運用(進入)戦術
- ・先進資機材の開発状況及び消防本部における導入状況
- ・警察、軍、行政との連携体制(連携マニュアル)
- ・NBC災害におけるロボットの活用状況、運用体制及び課題

5 報告書

分科会、検討会での検討結果をH25.2月下旬までに報告書としてとりまとめ、3月中に消防本部に配付する予定